

核兵器をなくす日本キャンペーン

2025年度 事業計画

2025.6.1

●政治への働きかけ：

「核抑止政策の批判的見直しと東アジアの軍縮の促進」

●市民への働きかけ：

「被爆者と出会い、核兵器問題について考える人びとを全国的に増やす」

●2026年に向けて、人的・財政的な体制の基盤を固める

政治への働きかけ

- 核兵器禁止条約マニフェストの発表・活用（後述）
- 学術アドバイザーグループの発足（後述）
- 国会議員への働きかけ－8.5国会議員討論会の開催など
- 政府との対話
- 核兵器禁止条約フォーラムの開催
- 国際的な議論の促進－NPT準備委員会への参加など

市民への働きかけ（世論喚起）

- **Hibakusha Dialogue**の実施
 - キャンペーン事務局の直轄によるイベント 2-3回
 - 各地と連携して実施するイベント 多数
- ボランティア、ユース・ネットワークの強化
- **被爆80年にあたって**
 - 被爆80年の関連主要行事への参加・情報発信
- **講師派遣、共催・連携イベント（NGO連絡会団体を含む）**
- **新しいメディアの活用－ポッドキャスト**

Hibakusha Dialogue

あなたの街で
被爆者とユースと
対話しませんか？

2024 年

11月

~

2026 年

3月

【問い合わせ】

核兵器をなくす日本キャンペーン
info@nuclearabolitionjpn.com

お申し込みはこちらから▼
(日本全国どこでも受け付けます)



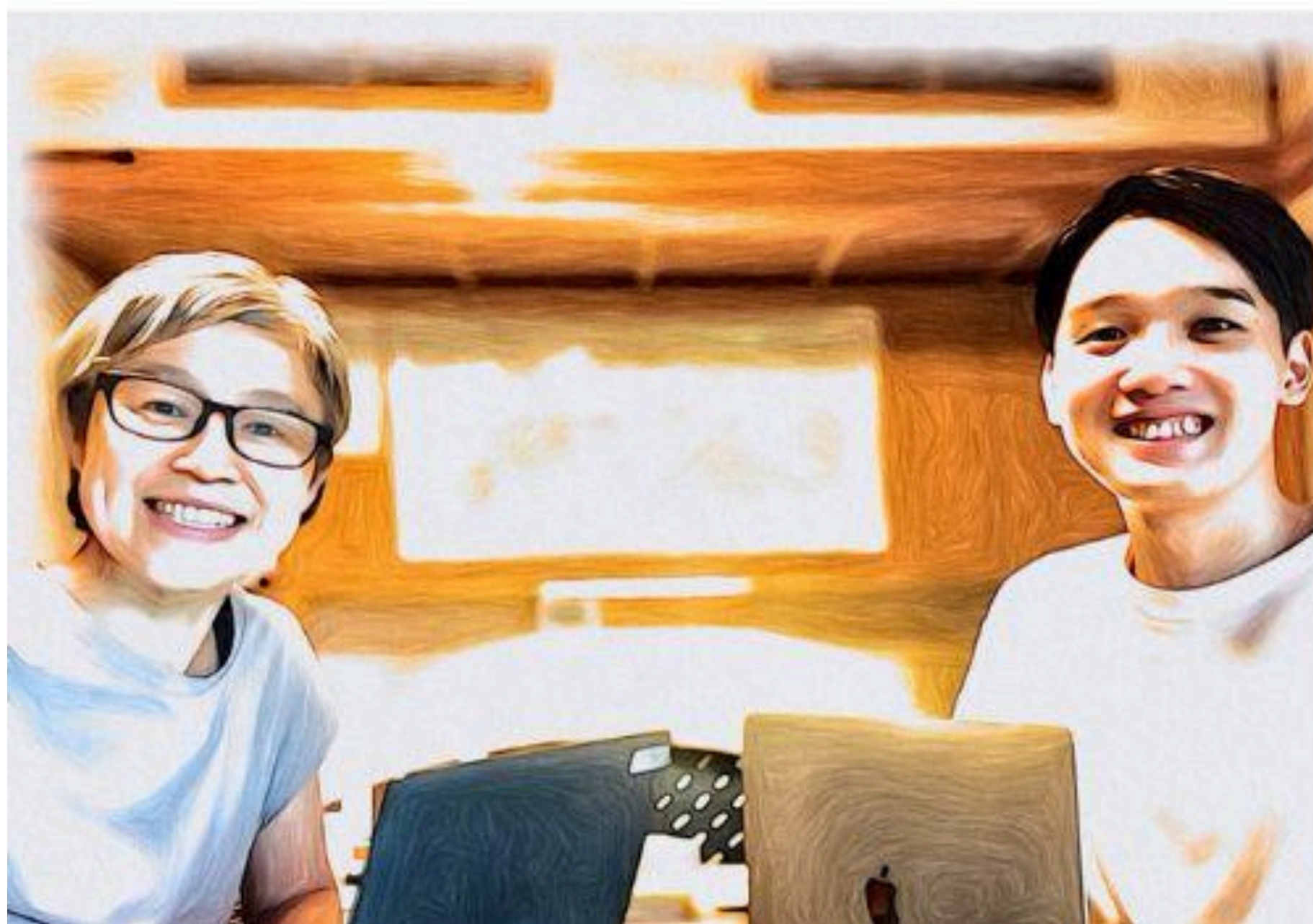
核兵器をなくす
JAPAN CAMPAIGN TO ABOLISH NUCLEAR WEAPONS
日本キャンペーン



核兵器を

なくすラジオ

核兵器をなくす
日本キャンペーン



核兵器をなくすラジオ

核兵器をなくす
JAPAN CAMPAIGN TO ABOLISH NUCLEAR WEAPONS
日本キャンペーン

NuclearBan Dialogue



明治大学
山田 寿則 さん



核兵器をなくす日本キャンペーン
浅野 英男

Episode 1

核不拡散条約 (NPT) のいま

主要スケジュール（上半期）

6月	発足1周年イベント、核兵器禁止条約マニフェスト発表、学術アドバイザーグループ発足
6-7月	各政党への働きかけ、参議院選挙
8月	国会議員討論会、核兵器禁止条約フォーラム、市民向けイベント
9月	9.26核廃絶国際デー記念シンポジウム
10月-	NPT再検討会議(2026.4-5月)、TPNW再検討会議(2026.11-12月)に向けた準備
通年	Hibakusha Dialogue の積極展開

「学術アドバイザーグループ」の発足

●趣旨：

学術アドバイザーグループは、核兵器をなくす日本キャンペーンからの求めに応じ、学術的知見に基づく助言を提供する。これは、専門知の政策反映および市民活動での活用を目的とする。なお、当グループへの参加は、核兵器をなくす日本キャンペーンのすべての活動に対する賛同を意味するものではない。

「学術アドバイザーグループ」の発足

●任期

- ・ 2025年6月1日～2027年3月31日（更新あり）

●メンバー（敬称略、6/1時点）

- ・ 鈴木達治郎（座長）
- ・ 竹峰誠一郎
- ・ 平林今日子（手続き中）
- ・ 宮本ゆき
- ・ 山田寿則

政策提言

核兵器禁止条約マニフェスト

日本がアジアでの核軍縮を主導し、
核兵器禁止条約に参加するための提言

核兵器禁止条約マニフェスト

●2つの柱

- どのように日本がアジアにおける核軍縮をリードすべきか？
- 日本はなぜ核兵器禁止条約に参加すべきか、参加を通じてどのように核廃絶に貢献できるのか？

＞ 日本の核兵器禁止条約への参加＋アジアでの軍縮外交・
対話を通じた核の脅威の削減を目指す政策パッケージ

核兵器禁止条約マニフェスト

●今後の活用方法

- 市民や専門家との議論を実施し、さらなる改訂を重ねる
- 政府や議員との対話での活用＞政策への反映を目指す

●6/10 14:00～ オンライン記者会見（メディア関係者向け）

●6月中旬 NGO関係者による意見交換
（日程の詳細は近日中にお伝えします）